

DWS グローバル公益債券ファンド（毎月分配型）

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

交付運用報告書 追加型投信／内外／債券 作成対象期間（2019年10月22日～2020年4月20日）

第124期（決算日：2019年11月20日） 第126期（決算日：2020年1月20日） 第128期（決算日：2020年3月23日）
 第125期（決算日：2019年12月20日） 第127期（決算日：2020年2月20日） 第129期（決算日：2020年4月20日）

第129期末（2020年4月20日）	
Aコース（為替ヘッジあり）	
基準価額	8,886円
純資産総額	62,252百万円
第124期～第129期 （2019年10月22日～2020年4月20日）	
騰落率	△1.7%
分配金合計	120円

第129期末（2020年4月20日）	
Bコース（為替ヘッジなし）	
基準価額	9,843円
純資産総額	13,250百万円
第124期～第129期 （2019年10月22日～2020年4月20日）	
騰落率	△2.3%
分配金合計	240円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWS グローバル公益債券ファンド（毎月分配型）Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」は、2020年4月20日に第129期の決算を行いました。当ファンドは、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

＜お問い合わせ先＞

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

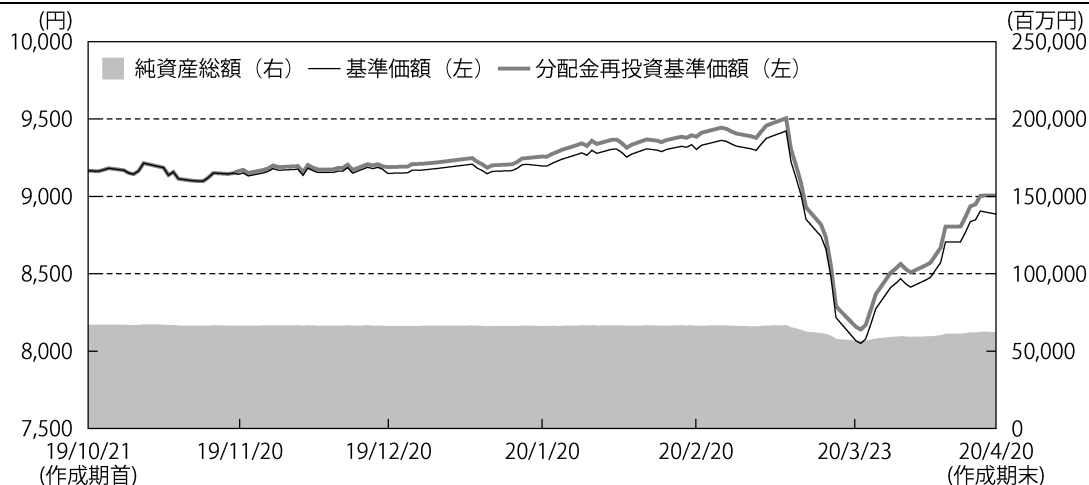
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【Aコース（為替ヘッジあり）】

■基準価額等の推移について

（2019年10月22日～2020年4月20日）



第124期首：9,164円

第129期末：8,886円（既払分配金120円）

騰落率：△1.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米国や欧州（ドイツ）の長期金利*の低下はプラス材料となった一方、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け公益債券のスプレッド*が拡大したことはマイナス材料となり、基準価額は下落しました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

*スプレッド：主に主要国債（先進国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第124期～第129期 2019年10月22日～2020年4月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	72円	0.788%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,091円です。
(投 信 会 社)	(35)	(0.383)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (0)	0.016 (0.005)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(1)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	73	0.805	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

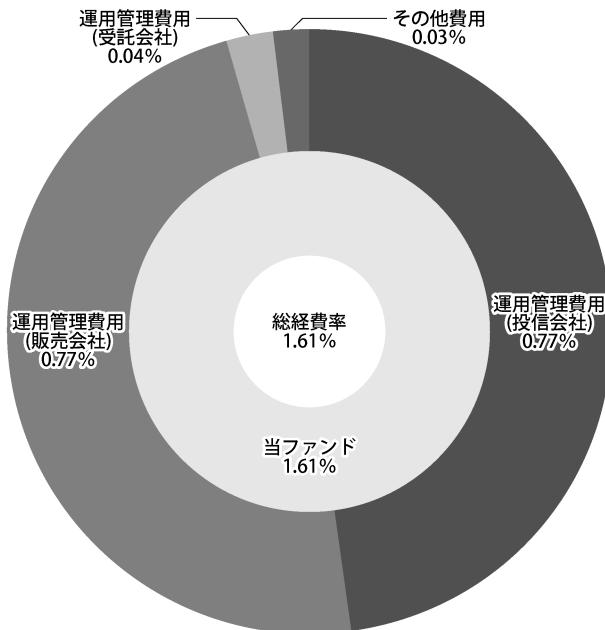
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○ **総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

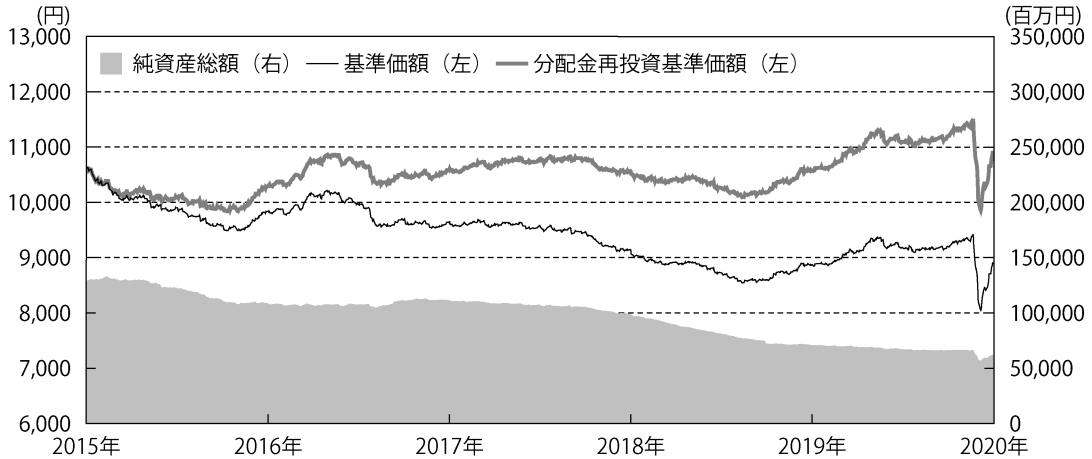
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2015年4月20日～2020年4月20日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年4月20日	2016年4月20日	2017年4月20日	2018年4月20日	2019年4月22日	2020年4月20日
基準価額 (円)	10,641	9,824	9,599	9,063	8,857	8,886
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	480	480	260	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△3.1	2.6	△0.7	0.7	3.0
純資産総額 (百万円)	129,008	108,239	110,957	98,334	70,753	62,252

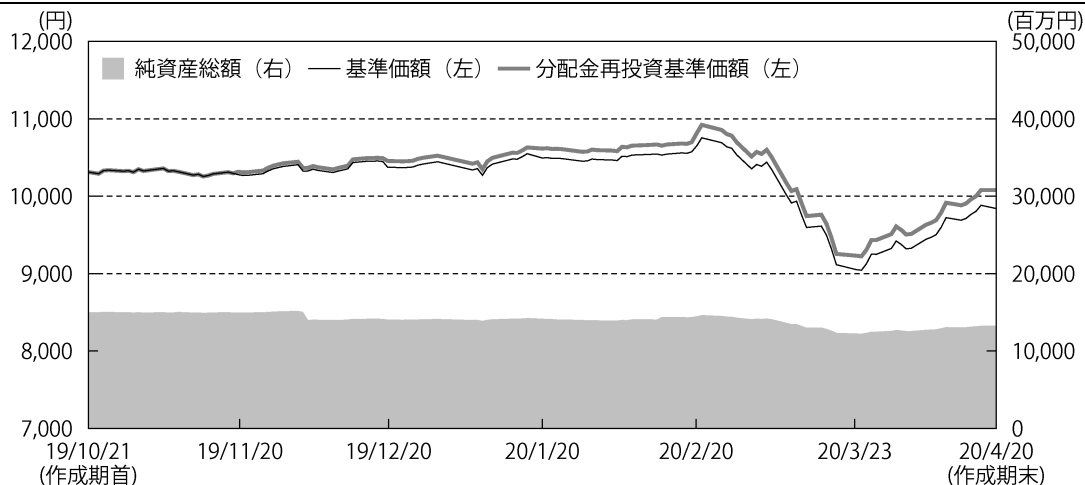
- 当ファンドは、DWS グローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【Bコース（為替ヘッジなし）】

■基準価額等の推移について

（2019年10月22日～2020年4月20日）



第124期首：10,312円

第129期末：9,843円（既払分配金240円）

騰落率：△2.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米国や欧州（ドイツ）の長期金利*の低下はプラス材料となった一方、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け公益債券のスプレッド*が拡大したことはマイナス材料となり、基準価額は下落しました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

*スプレッド：主に主要国債（先進国国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第124期～第129期 2019年10月22日～2020年4月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	81円	0.788%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,267円です。
(投 信 会 社)	(39)	(0.383)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.015	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(1)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	83	0.804	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

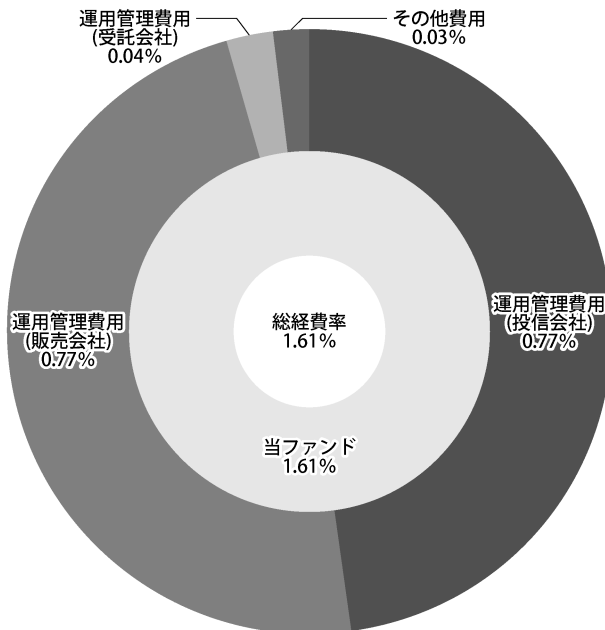
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

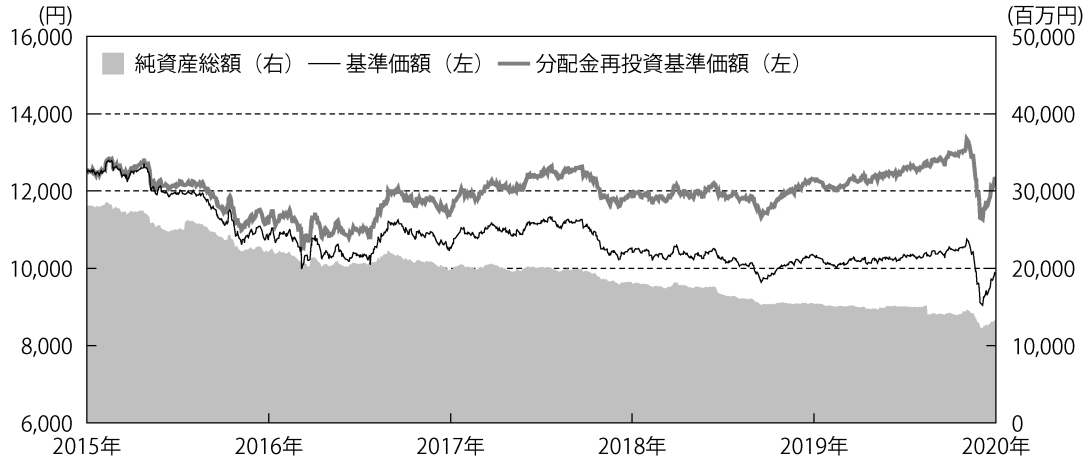
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2015年4月20日～2020年4月20日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年4月20日	2016年4月20日	2017年4月20日	2018年4月20日	2019年4月22日	2020年4月20日
基準価額 (円)	12,514	10,871	10,526	10,419	10,299	9,843
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△9.5	1.3	3.4	3.6	0.2
純資産総額 (百万円)	27,891	22,212	19,760	17,971	15,374	13,250

- 当ファンドは、DWS グローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

（2019年10月22日～2020年4月20日）

主要国債市場において、米国や欧州（ドイツ）の10年国債利回り（長期金利）は低下しました。米国では、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大や、原油価格の急落を受けたりリスク回避的な流れから金利低下が進みました。加えて、米連邦準備制度理事会（F R B）が利下げを行い、実質的なゼロ金利政策を再開させたことも金利低下要因となりました。欧州においても、欧州中央銀行（E C B）が金融緩和の強化を行ったことを受け、ドイツの長期金利は低下しました。社債市場においては、新型コロナウイルス感染拡大により世界景気の後退懸念が強まったことで、投資家によるリスク資産の売りが加速し、世界の投資適格社債の代表的な指数であるブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（除く日本）・社債インデックスのスプレッドは拡大したことから、円ヘッジベースのリターンはマイナスとなりました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

（2019年10月22日～2020年4月20日）

【Aコース（為替ヘッジあり）】／【Bコース（為替ヘッジなし）】

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

（DWS グローバル公益債券マザーファンド）

当ファンドでは当初の運用方針通り、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

幅広い地域や銘柄を組み入れることで、分散されたポートフォリオとしました。国別では、相対的に景気が強めと見ていた米国の配分を高めに維持した一方で、欧州連合（E U）離脱の不透明感がある英国の配分は引き続き抑え目としました。また、その他の国についても地政学リスクによる影響、財政や経済動向などを勘案し、選択的な投資を行いました。金利戦略につきましては、保有債券のデュレーション*が長めとなっていることや中長期的に金利が上昇するリスクを勘案して米国国債先物、ドイツ国債先物の一部売り建てを行いました。

■ベンチマークとの差異について

（2019年10月22日～2020年4月20日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

*デュレーション：金利変動に対する債券価格の変動性を示します。一般的にデュレーションが長いほど金利変動に対する価格の変動が大きくなります。

■分配金について

【Aコース（為替ヘッジあり）】

基準価額水準等を勘案して、各期とも20円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万円当たり・税引前）

	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2019年10月22日～ 2019年11月20日	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日
当期分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円
（対基準価額比率）	0.218%	0.218%	0.217%	0.215%	0.247%	0.225%
当期の収益	15	18	20	20	16	20
当期の収益以外	4	1	－	－	3	－
翌期繰越分配対象額	863	862	866	871	868	871

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【Bコース（為替ヘッジなし）】

基準価額水準等を勘案して、各期とも40円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万円当たり・税引前）

	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2019年10月22日～ 2019年11月20日	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日
当期分配金	40円	40円	40円	40円	40円	40円
（対基準価額比率）	0.388%	0.384%	0.380%	0.374%	0.440%	0.405%
当期の収益	16	27	29	29	18	26
当期の収益以外	23	12	10	10	21	13
翌期繰越分配対象額	3,546	3,534	3,523	3,513	3,492	3,479

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【Aコース（為替ヘッジあり）】／【Bコース（為替ヘッジなし）】

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

（DWS グローバル公益債券マザーファンド）

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

米国では、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響懸念から米国の長期金利は変動が続く可能性があります。もっとも、F R Bは実質的なゼロ金利政策に踏み切ったことや強力な流動性供給策を決定したこともあり、低金利環境が継続すると見られます。欧州でも、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と経済活動への悪影響が懸念される中、E C Bによる金融緩和策から、歴史的な低金利環境が更に長期化すると見えています。社債市場についても、新型コロナウイルスおよび資源価格の急落による企業収益の悪化懸念などから、スプレッドは当面変動が続く可能性が見込まれます。もっとも、世界的な金融市場の動揺がある程度収束していけば、低金利環境が継続する中、社債の相対的に高い利回りへの需要が回復していくと考えられます。また、F R BやE C Bの大規模な資産購入は公益債券の強力なサポート材料になると見えています。

お知らせ

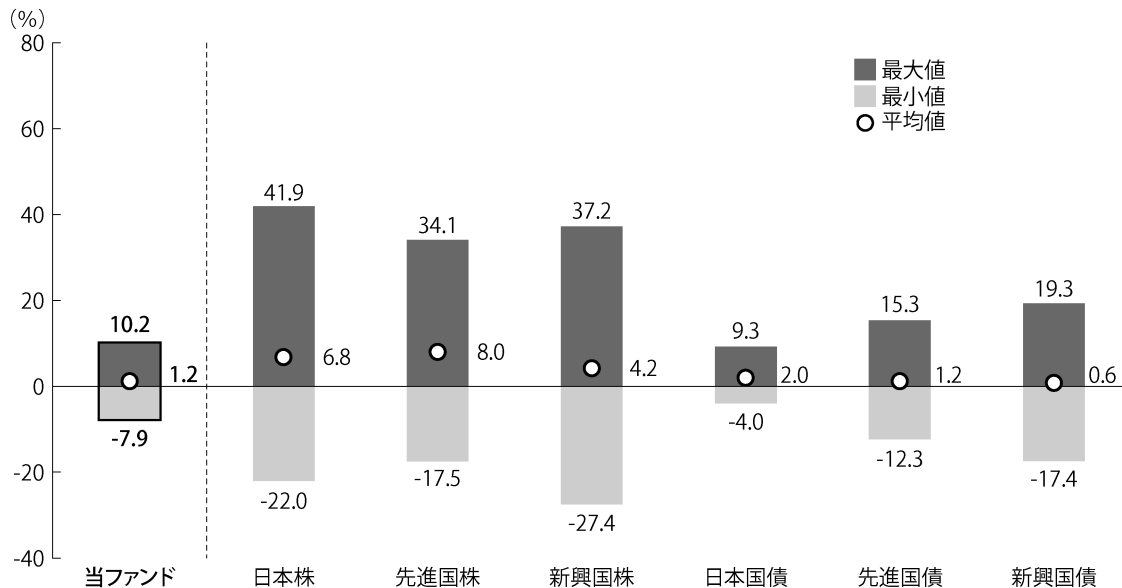
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	DWS グローバル公益債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DWS グローバル公益債券マザーファンド	世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とします。
運用方法	主としてDWS グローバル公益債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指します。実質外貨建資産については、Aコース（為替ヘッジあり）については原則として対円での為替ヘッジを行います。Bコース（為替ヘッジなし）については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
分配方針	毎決算時（原則として毎月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2015年4月末～2020年3月末）

【Aコース（為替ヘッジあり）】



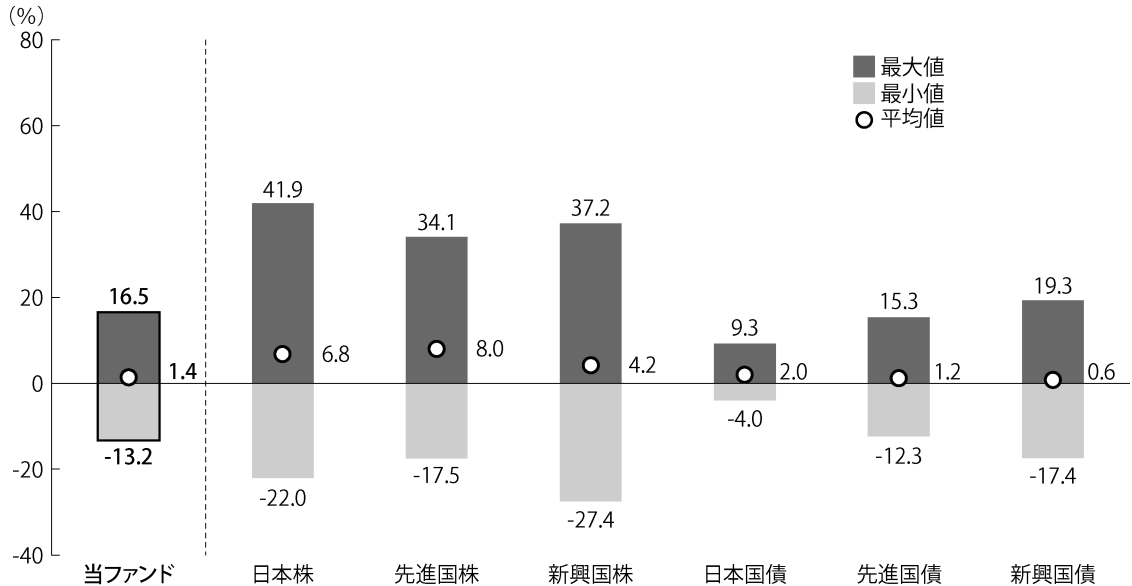
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.2	6.8	8.0	4.2	2.0	1.2	0.6
最大値	10.2	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	-7.9	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【Bコース（為替ヘッジなし）】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.4	6.8	8.0	4.2	2.0	1.2	0.6
最大値	16.5	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	-13.2	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2015年4月～2020年3月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P Iは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

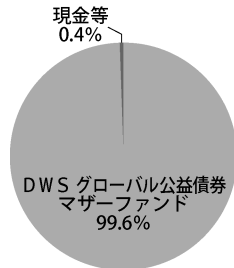
【Aコース（為替ヘッジあり）】 ■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

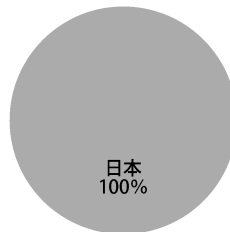
項 目	第129期末
	2020年4月20日
DWS グローバル公益債券マザーファンド	99.6%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

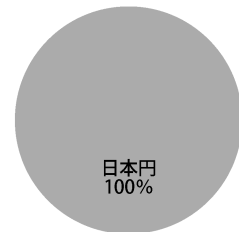
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2019年11月20日	2019年12月20日	2020年1月20日	2020年2月20日	2020年3月23日	2020年4月20日
純 資 産 総 額	66,334,600,242円	66,083,169,574円	66,172,602,608円	66,232,992,696円	56,696,528,636円	62,252,460,474円
受 益 権 総 口 数	72,557,833,327口	72,237,097,916口	71,958,245,118口	71,192,248,466口	70,283,002,605口	70,055,576,839口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	9,142円	9,148円	9,196円	9,303円	8,067円	8,886円

当作成期中における追加設定元本額は3,349,702,005円、同解約元本額は6,399,000,417円です。

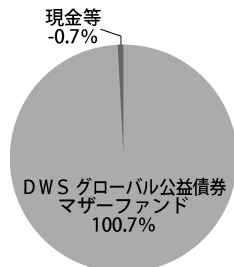
【Bコース（為替ヘッジなし）】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

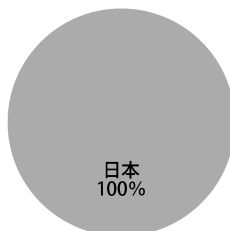
項 目	第129期末
	2020年4月20日
DWS グローバル公益債券マザーファンド	100.7%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

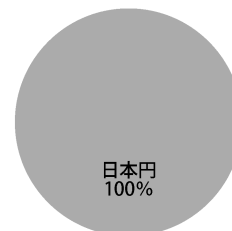
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

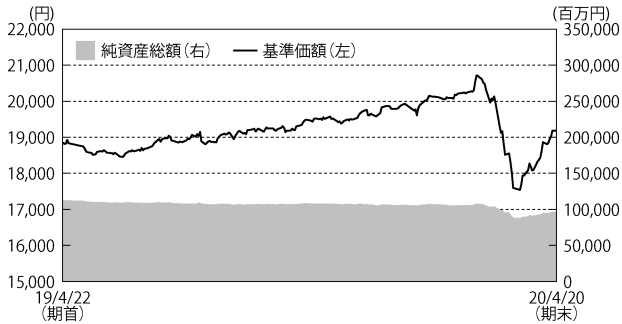
項 目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2019年11月20日	2019年12月20日	2020年1月20日	2020年2月20日	2020年3月23日	2020年4月20日
純 資 産 総 額	14,958,148,862円	14,039,682,639円	14,164,176,796円	14,477,836,750円	12,249,541,730円	13,250,109,963円
受 益 権 総 口 数	14,555,468,917口	13,532,642,109口	13,497,697,742口	13,590,870,187口	13,533,036,646口	13,461,207,751口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	10,277円	10,375円	10,494円	10,653円	9,052円	9,843円

当作成期中における追加設定元本額は1,360,779,824円、同解約元本額は2,463,894,397円です。

■組入上位ファンドの概要

DWS グローバル公益債券マザーファンド（2019年4月23日～2020年4月20日）

◆基準価額の推移



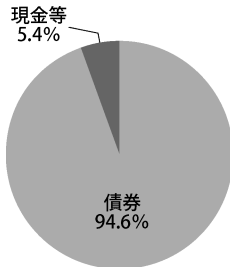
◆上位10銘柄

	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	DUK 6.4% 06/15/38	アメリカ	アメリカ・ドル	2.8%
2	BRKHEC 6.25% 10/15/37	アメリカ	アメリカ・ドル	2.4%
3	KMI 6.95% 01/15/38	アメリカ	アメリカ・ドル	2.3%
4	TRPCN 7.625% 01/15/39	カナダ	アメリカ・ドル	2.2%
5	D 7% 06/15/38	アメリカ	アメリカ・ドル	2.1%
6	ED 4.45% 03/15/44	アメリカ	アメリカ・ドル	2.0%
7	ONCRTX 5.25% 09/30/40	アメリカ	アメリカ・ドル	1.9%
8	BRKHEC 3.5% 02/01/25	アメリカ	アメリカ・ドル	1.8%
9	EOANGR 6.65% 04/30/38	オランダ	アメリカ・ドル	1.7%
10	PPL 5.125% 11/01/40	アメリカ	アメリカ・ドル	1.6%
組入銘柄数			139銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

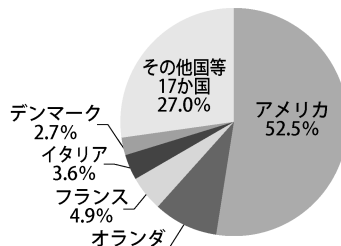
◆資産別配分



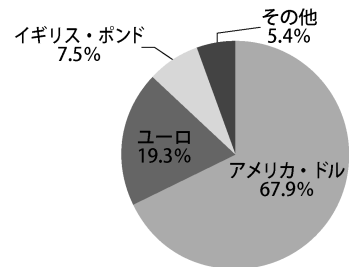
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



◆1万口当たりの費用明細

項目	当期 2019年4月23日～2020年4月20日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.001% (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用)	3 (2)	0.015 (0.010)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.005)	証券投資信託管理事務等に係る費用
合計	3	0.016	

期中の平均基準価額は19,297円です

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (b) その他費用（その他）にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

寄付についてのご報告

「DWS グローバル公益債券ファンド」は、2019年4月23日から2020年4月20日までの期間、委託会社が受ける信託報酬の中から総額2,000,000円を公益財団法人日本盲導犬協会及び社会福祉法人日本介助犬協会に寄付（各1,000,000円ずつ）させていただきました。

※公益財団法人日本盲導犬協会は目の不自由な方々のために盲導犬を育成しており、1967年に厚生省（当時）の認可を得て日本で初めて設立された盲導犬協会です。



※社会福祉法人日本介助犬協会は一人でも多くの肢体不自由者が自立と社会参加を果たせるよう、良質な介助犬の育成と訓練を行います。

